



代表取締役CEO 山本正卓

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、2024年3月期第2四半期連結累計期間のご報告を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響は収束しつつあり、持ち直しの動きが見られます。一方で、エネルギーや原材料価格の高騰による消費者物価の上昇もあり、依然として先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、2022年11月より導入された次世代パチスロ機において、2023年4月に注目機種が導入されたこともあり、業界活性化への期待が高まる傾向にあります。

パチンコホール広告市場においては、次世代機導入による需要に加え、2023年1月に警察庁より公表された「ぱちんこ営業における広告及び宣伝の取扱いについて」の通達によって、各都道府県においてパチンコホールの広告規制見直しの動きがあったことなどもあり、広告需要の回復が期待されたものの、今後も次世代機導入に必要な投資資金確保のため、広告費支出は抑制傾向にあります。

一方で、パチンコホール以外の広告分野については、フィットネス施設や住宅関連広告分野をはじめ、広告需要は増加基調にあります。

こうした環境下で、当社グループでは主力の広告事業において、パチンコホール広告分野の最大化に努めてまいりました。さらには、パチンコホール以外の顧客開拓、取引深耕を推進し、収益の底上げに向けた取り組みを進めてまいりました。

これらの取り組みの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,913百万円（前年同期比2.8%増）、売上総利益は1,173百万円（同1.9%増）と前年を上回ったものの、人員の増加や、昨今のインフレに対応するための賃上げ実施など、人件費への投資の結果、販売費及び一般管理費が41百万円増加したことから、営業利益は203百万円（同9.0%減）、前年同期において一過性の為替差益の計上があったことから、経常利益は前年同期比16.8%減となる208百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は159百万円（同21.5%減）となりました。

以上の経営成績をふまえ、1株当たりの中間配当金は9円とし、お支払い開始日は2023年12月4日（月）とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2023年12月

連結財務ハイライト

売上高（単位：百万円）

経常利益（単位：百万円）

親会社株主に帰属する
四半期純利益（単位：百万円）

総資産額／純資産額（単位：百万円）
■ 総資産 ■ 純資産

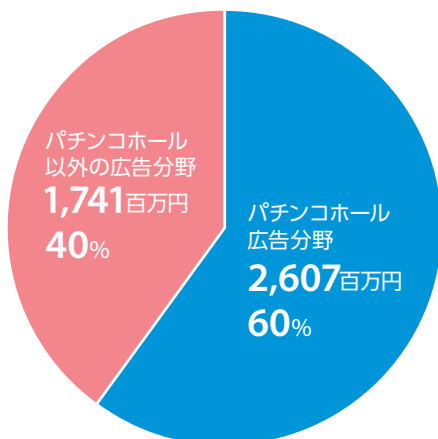
2024年3月期 第2四半期	3,913	2024年3月期 第2四半期	208	2024年3月期 第2四半期	159	2024年3月期 第2四半期	4,236 / 5,716
2023年3月期 第2四半期	3,805	2023年3月期 第2四半期	251	2023年3月期 第2四半期	202	2023年3月期 第2四半期	4,526 / 5,845
2022年3月期 第2四半期	3,536	2022年3月期 第2四半期	85	2022年3月期 第2四半期	36	2022年3月期 第2四半期	4,652 / 6,018

広告事業の収益構造の転換に向けた取り組み

広告事業を基軸として、パチンコホール以外の広告分野での新規顧客開拓を推進するとともに、Web広告配信サービスをはじめとする各種インターネットサービスを充実させることで、収益構造の転換に取り組んでいます。

① パチンコホール以外の広告分野での新規顧客開拓

当第2四半期 業種別取扱高



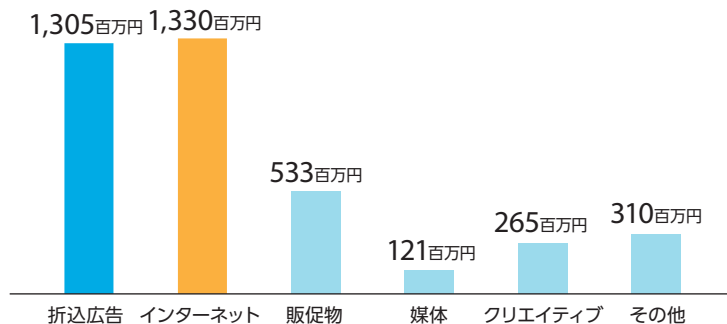
主な取り組み

- フィットネス、住宅関連分野広告のさらなる拡販
- 公営競技など大型施設への集客支援サービスの提供
- 地域密着型の広告代理店をはじめとしたパートナー企業との協業案件の推進

これらの取り組みの結果、パチンコホール以外の広告分野の取扱高に占める割合は、40%となりました。

② クライアントのインターネット広告シフトに対応

当第2四半期 品目別売上高 (広告事業)



主な取り組み

- これまで投入してきた各インターネットサービスのさらなる充実
- テクノロジーの進化に適應した広告サービスの開発

これらの取り組みの結果、インターネット広告の売上高は、主力であった折込広告を上回りました。

下期の取り組み

販売戦略…インターネットと紙媒体の融合による広告サービスの最適化



インターネット

増加傾向にあるものの、キーワード単価の上昇や競争激化、各種規制の強化といった点は懸念材料



ポスティング広告などに商機

当社がこれまで蓄積してきた、紙媒体広告とインターネット広告双方のノウハウを活用



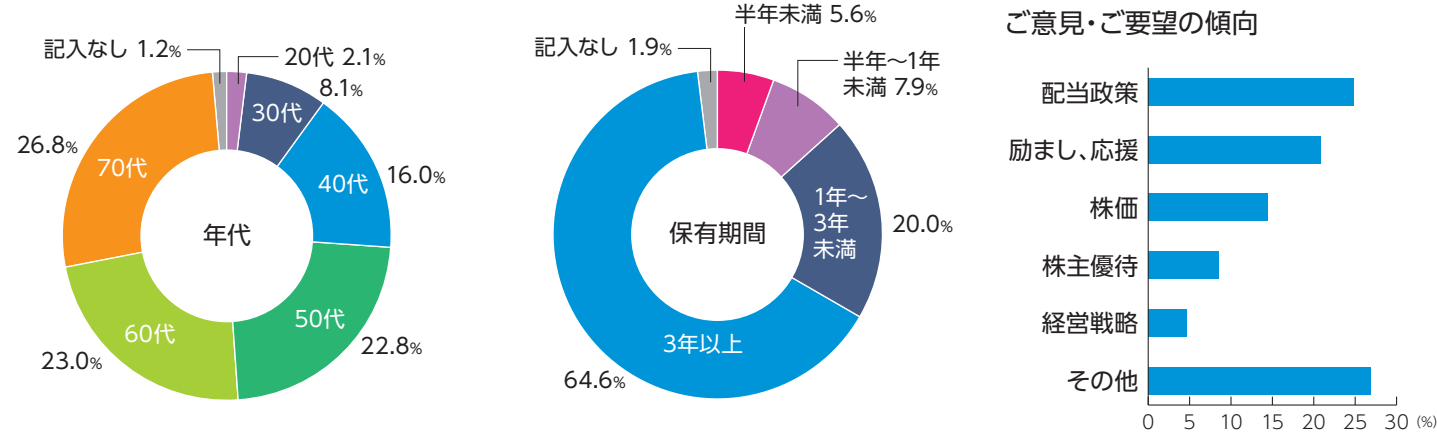
紙媒体

新聞購読者数の減少やインターネット広告との比較で効果測定が困難な点が課題

2023年3月期 アンケート結果のご報告

当社では、株主の皆様とより一層のコミュニケーションを図るため、株主アンケートを行っております。前回の株主アンケートには、多くのご回答をいただき厚くお礼申し上げます。頂戴した貴重なご意見は、今後の企業活動の参考にさせていただき、さらなる企業価値の向上に努めてまいりますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【回答者属性】



【主なご意見・ご要望】

- ・従来の事業分野にこだわらず、新規分野を開拓し、企業価値の拡大により、業績の向上、増配を期待します。
- ・高齢化社会において、又、ますます高齢化になる方向を見据え、新しいものへのチャレンジ等期待しています。
- ・株主優待を導入してほしい。このようなアンケートは続けてもらいたい。

会社概要		株主メモ	
<2023年9月30日現在>			
商号	ゲンダイエージェンシー株式会社 (GENDAI AGENCY INC.)	事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
本社所在地	〒163-1429 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティビル29F TEL: 03-5308-9888 (代表)	定時株主総会	毎年6月
設立	1995年4月	基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
資本金	1億円	一単元の株式数	100株
発行済株式総数	12,300,000株	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
業務内容	広告、宣伝に関する企画および制作	同事務拠点	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 ☎ 0120-232-711
事業所	● 本社 ● 全国12営業拠点 (札幌、仙台、宇都宮、埼玉、東京、松本、名古屋、静岡、大阪、広島、福岡、鹿児島)	(同送付先)	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
連結子会社	(株) ユーアンドユー／(株) ジュリアジャパン／ (株) ジールネット／(株) プレスエー／ (株) ランドサポート／(株) アーク	上場証券取引所	(株) 東京証券取引所 スタンダード市場
		公告方法	電子公告 ただし電子公告によることができない事故その他のやむをえない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行います。
		公告掲載URL	https://www.gendai-a.co.jp/
		(ご注意)	1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。 3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
役員一覧			
<2023年9月30日現在>			
代表取締役 CEO	山本 正卓		
代表取締役 COO兼CCO	上川名 弦		
取締役 CFO	高 秀一		
取締役 CIO	木藤 友治		
取締役 CMO	大島 克俊		
取締役(社外)	田坂 正樹		
取締役(社外)	姜 理恵		
常勤監査役	安達 吉明		
監査役(社外)	高野 健二		
監査役(社外)	田中 公仁郎		
監査役(社外)	高岡 徹		